

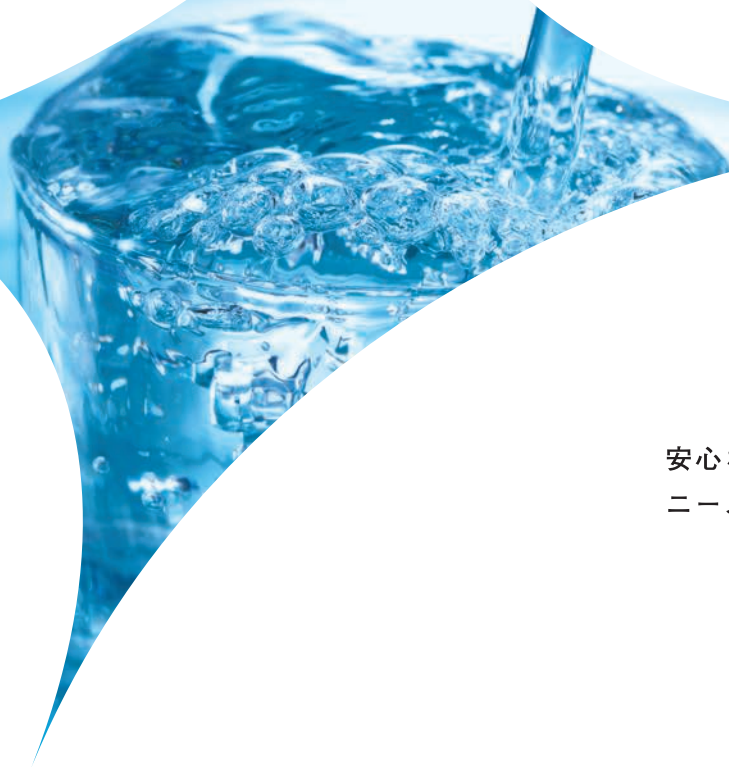
世界のすきまに新たな世界を

株主・投資家の皆様へ

第95期 中間報告書

第95期第2四半期 業績のご報告

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



安心な水という
ニーズは世界共通。

INDEX



ごあいさつ	2
セグメント別業績の概要	3
連結決算の状況	5
トピックス	7
会社概要	8
株式情報	9

株主・投資家の皆様へ



株主・投資家の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第95期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日)における事業の概況と業績につきまして、ご報告申し上げます。

当期間におけるわが国経済は、為替相場の円安ドル高による輸出関連企業の収益改善を背景とした設備投資や雇用情勢の回復傾向が続く一方で、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により個人消費や住宅投資に弱さがみられるなど、先行き不透明な状況で推移しています。一方で世界経済は、米国経済が緩やかな景気拡大を続けているものの、アジア、ユーロ圏の減速により世界経済全体の低迷が懸念され、金融市場も不安定化しています。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は236億38百万円 前年同期比3.3%の増収となりましたが、利益面におきましては、一部製品の稼働率低下

の影響等により営業利益は27億64百万円 前年同期比9.8%の減益、経常利益は30億31百万円 前年同期比6.7%の減益、四半期純利益は20億64百万円 前年同期比0.4%の減益と、いずれも前年を下回る結果となりました。

当社グループでは、平成28年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画『SSS over the 500』において、利益水準の維持・向上を図りつつ前計画で積み残した連結売上高500億円の早期達成を目指しております。コア・コンピタンスに基軸を置いた事業運営、イノベーション重視の攻撃的なグローバル・ニッチ企業志向を経営基本方針に、引き続きグループを挙げて目標達成に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

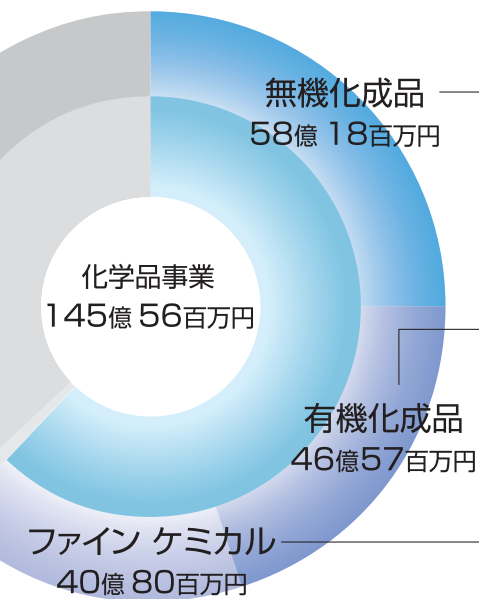
平成26年12月

代表取締役会長 兼 C.E.O.

山下 矩仁彦

代表取締役社長 兼 C.O.O.

田邊 博臣



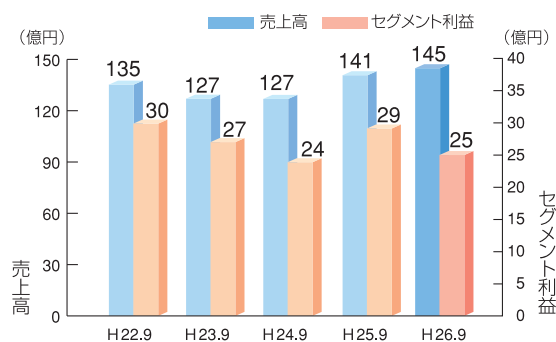
<p>【主要製品・用途】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不溶性硫黄…………ラジアルタイヤ用加硫剤 ●二硫化炭素…………化学繊維レーヨンの必須原料 ●無水芒硝…………入浴剤の温浴効果促進剤 合成洗剤の洗浄助剤 	
<p>【主要製品・用途】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●シアヌル酸誘導品…プール・浄化槽の殺菌消毒剤 船舶バラスト水の殺菌剤 ●ハイポルカ…………排水・汚泥処理剤 	
<p>【主要製品・用途】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タフエース…………プリント配線板向け水溶性防錆剤 ●イミダゾール類…エポキシ樹脂の硬化剤 機能材料、医薬品原料 ●インク類…………電子部品材料 	

化学品事業

不溶性硫黄は、輸出を中心に販売が好調でした。シアヌル酸誘導品は、主要市場の米国で日本製品が反ダンピングの提訴を受け、一時的に輸出を停止したことから、稼働率が低下し採算性が低下しました。(なお、この訴えは退けられたため、輸出は再開できる見通しです。)タフエースは、国内販売、輸出ともに好調でした。

この結果、化学品事業の売上高は145億56百万円 前年同期比3.0%の増収、セグメント利益は25億85百万円 前年同期比12.2%の減益となりました。

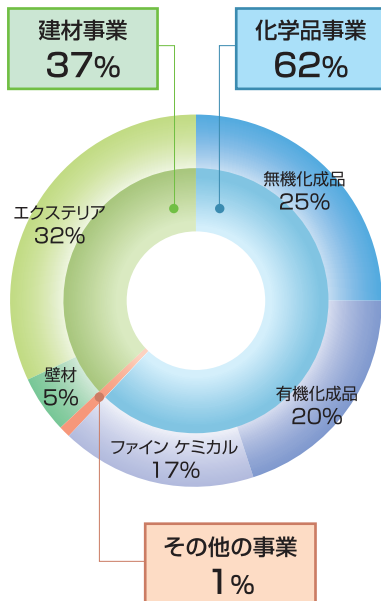
業績推移





連結売上高と構成比

合計 236億 38百万円



【主要製品】

- 住宅エクステリア……
門扉、フェンス
カーポート
アコーディオン門扉
アルミシステム塀



- 景観エクステリア……
大型門扉、大型フェンス
通路用シェルター
自転車置場
ゴミ集積庫、屋上緑化等



【主要製品】

- 内装材、外装材、舗装材

エクステリア
76億 35百万円

建材事業
87億 47百万円

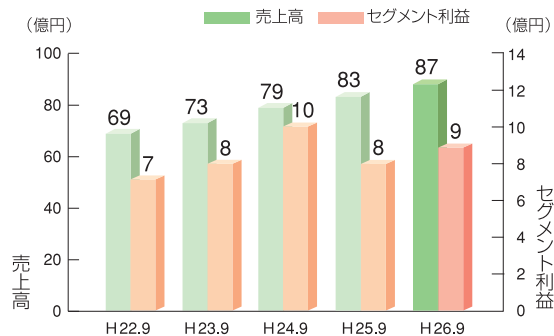
壁材
11億 12百万円

建材事業

エクステリアは、カーポートや自転車置場などを中心に、住宅分野、景観分野とも好調に推移しました。壁材は、消費税増税後の反動による新設住宅着工戸数の減少や湿式壁材市場の停滞により低調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は87億47百万円 前年同期比4.9%の増収、セグメント利益は9億63百万円 前年同期比8.5%の増益となりました。

■ 業績推移



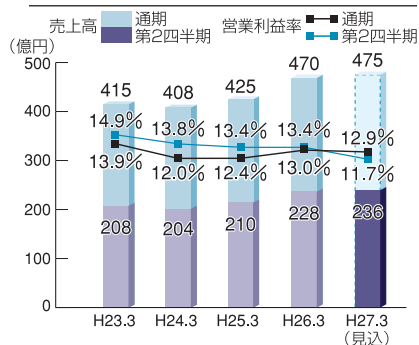
■四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

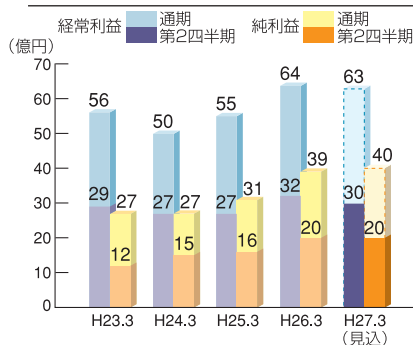
科 目	平成26年3月期 (平成26年3月31日現在)	平成27年3月期 (平成26年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	34,700	35,439
現金及び預金	10,732	13,811
受取手形及び売掛金	14,788	12,667
商品及び製品	5,863	5,669
仕掛品	108	112
原材料及び貯蔵品	2,231	2,242
繰延税金資産	653	622
その他	322	313
固定資産	31,341	32,008
有形固定資産	17,485	17,771
建物及び構築物	4,864	4,821
機械装置及び運搬具	3,656	3,492
土地	8,379	8,789
建設仮勘定	57	215
その他	527	452
無形固定資産	326	355
投資その他の資産	13,529	13,881
投資有価証券	12,238	13,030
繰延税金資産	658	273
その他	632	576
資産合計	66,042	67,447

科 目	平成26年3月期 (平成26年3月31日現在)	平成27年3月期 (平成26年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	14,360	14,149
支払手形及び買掛金	7,876	6,640
短期借入金	1,950	1,980
1年内返済予定の長期借入金	327	1,317
未払法人税等	823	1,057
その他	3,383	3,154
固定負債	6,440	5,302
長期借入金	1,545	563
再評価に係る繰延税金負債	1,549	1,549
退職給付に係る負債	2,363	2,186
その他	982	1,003
負債合計	20,801	19,452
(純資産の部)		
株主資本	42,005	43,866
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,741	5,741
利益剰余金	29,692	31,554
自己株式	△ 297	△ 297
その他の包括利益累計額	2,987	3,618
少数株主持分	247	510
純資産合計	45,241	47,995
負債純資産合計	66,042	67,447

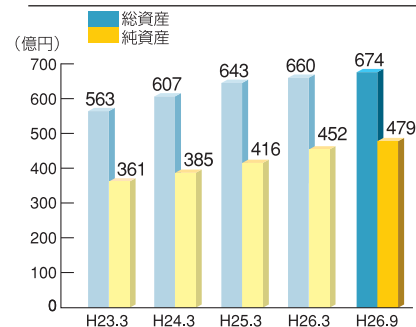
売上高及び営業利益率



経常利益及び当期純利益



総資産及び純資産





■四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	平成26年3月期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	平成27年3月期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	22,881	23,638
売上原価	14,417	15,131
売上総利益	8,463	8,507
販売費及び一般管理費	5,400	5,743
営業利益	3,063	2,764
営業外収益	262	354
営業外費用	77	87
経常利益	3,248	3,031
特別利益	0	217
特別損失	16	5
税金等調整前四半期純利益	3,232	3,244
法人税等	1,152	1,173
少数株主損益調整前四半期純利益	2,079	2,070
少数株主利益	7	6
四半期純利益	2,071	2,064

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	平成26年3月期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	平成27年3月期 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
現金及び現金同等物の 期首残高	9,947	10,627
営業活動による キャッシュ・フロー	2,286	4,632
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,328	△1,099
財務活動による キャッシュ・フロー	△785	△450
現金及び現金同等物に 係る換算差額	58	100
現金及び現金同等物の 増加額	230	3,183
現金及び現金同等物の 四半期末残高	10,177	13,811

■通期の見通し

通期の業績予想は、当初の計画(平成26年4月30日発表)から変更しておりません。

平成27年3月期 通期連結業績予想数値

(単位:百万円)

	(ご参考) 前期実績	通期業績予想	前期比増減率
売上高	47,044	47,500	1.0%
営業利益	6,113	6,150	0.6%
経常利益	6,443	6,300	△2.2%
当期純利益	3,924	4,000	1.9%

(注) なお、下期の主要な為替レートは、105円/米ドル、138円/ユーロと想定しております。

不溶性硫黄設備を増強

ラジアルタイヤの必須原料として世界第2位のシェアを持つ「不溶性硫黄」。丸亀工場で生産設備を増設し、2017年10月頃までに生産能力を約30%増強します。

タイヤの需要は、新興国で自動車の本格的な普及期に入ったこともあり、今後も年率3~4%程度の成長が予測されています。旺盛な需要を見込み、タイヤメーカー各社は引き続き世界各地に生産拠点を拡充を進めており、今回の増産分についてはそうした新興国をはじめとする海外市場に拡販していく予定です。

不溶性硫黄は1984年の操業開始から30年。これからも高い品質と実績で、グローバル・ニッチ企業を代表する製品として更なる成長を目指してまいります。



自動車の普及が進む新興国(イメージ)

日本硫炭工業を子会社化

当社は、2014年9月末日付けで、持分法適用関連会社である日本硫炭工業株式会社(以下日本硫炭)の株式を追加取得し、連結子会社としました。(株式追加取得後の当社出資比率73.684%)

日本硫炭は、1970年に当社を含む二硫化炭素メーカーなど5社の共同出資により設立され、現在では国内唯一の二硫化炭素製造拠点として、その供給を担っています。

1947年に二硫化炭素の製法革新を以て創業した当社は、その後、研究開発や製造技術の独創性を基に数多くの製品を世に送り出し、事業を拡大してきました。創業の精神である企業理念「独創力」は、不変の価値観としてグループ全社員に息づいています。

二硫化炭素は、今般設備を増強する不溶性硫黄の製造にも原材料として用いられており、この子会社化により、祖業でもある二硫化炭素事業の更なる強化を図ってまいります。



二硫化炭素(水没貯蔵状態)



日本硫炭工業(株)大分工場(昭和電工大分コンビナート内)



証券コード 4099

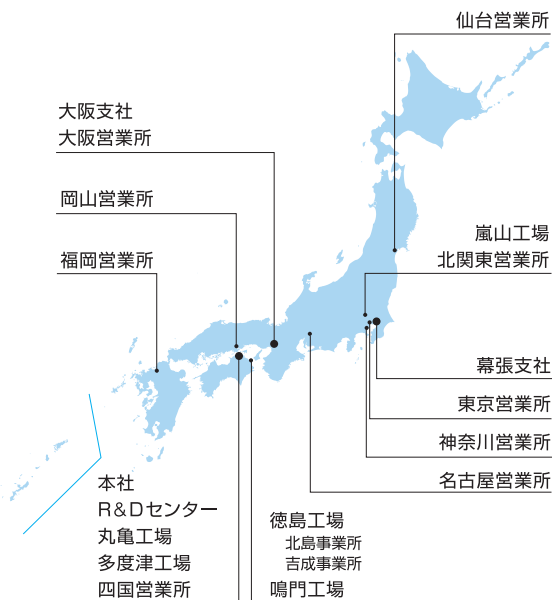
会社概要

平成26年9月30日現在

会社設立	昭和22年10月10日
上場	東京証券取引所 第一部
資本金	68億67百万円
グループ従業員数	1,029名

国内拠点

平成26年9月30日現在



海外拠点

平成26年9月30日現在



役員

平成26年9月30日現在

代表取締役会長 兼 C.E.O.	山 下 矩 仁 彦
代表取締役社長 兼 C.O.O.	田 邊 博 臣
取締役 専務執行役員	吉 岡 隆 人
取締役 専務執行役員	田 中 直 人
取締役 専務執行役員	畑 田 俊 彦
取締役 専務執行役員	富 田 俊 忠
取締役 執行役員	藤 本 鍋 志
取締役 執行役員	真 鍋 充 英
取締役 執行役員	渡 邊 梨 英
取締役 (社外取締役)	高 梨 純 工
常 勤 監 査 役	松 原 井 伸 信
常 勤 監 査 役	直 井 内 池 啓 樹
監査役 (社外監査役)	竹 籠 玉 藤 正 史
監査役 (社外監査役)	籠 池 仁 昭
執 行 役 員	児 安 高 小
執 行 役 員	安 藤 木 仁
執 行 役 員	高 木 昭
執 行 役 員	小 野

グループ各社

平成26年9月30日現在

連結子会社 10社

化学 建材 その他

SHIKOKU INTERNATIONAL CORPORATION	資本金 700 千ドル	持株比率 100%
日本硫炭工業株式会社	資本金 400 百万円	持株比率 73.7%
シコク環境ビジネス株式会社	資本金 20 百万円	持株比率 72.5%
シコク分析センター株式会社	資本金 10 百万円	持株比率 80%
シコク興産株式会社	資本金 90 百万円	持株比率 100%
シコク景材株式会社	資本金 98 百万円	持株比率 100%
シコク景材関東株式会社	資本金 50 百万円	持株比率 100%
シコク・システム工房株式会社	資本金 50 百万円	持株比率 100%
シコク・フーズ商事株式会社	資本金 20 百万円	持株比率 100%
シコク・フーズ保険サービス株式会社	資本金 5 百万円	持株比率 100%

非連結子会社 1社

四国化成(上海)貿易有限公司

株式の状況

平成26年9月30日現在

発行可能株式総数	235,850,000株
発行済株式総数	58,948,063株
株主数	4,560名

株主の状況 (上位10名)

平成26年9月30日現在

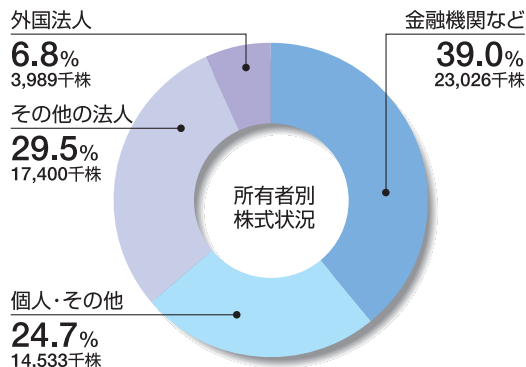
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日清紡ホールディングス株式会社	5,580	9.55
シコク共栄会	4,488	7.68
日本生命保険相互会社	3,424	5.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・㈩百十四銀行口)	2,640	4.52
株式会社 香川銀行	2,500	4.28
株式会社 四国銀行	1,750	2.99
株式会社 伊予銀行	1,500	2.57
株式会社 中国銀行	1,500	2.57
東京海上日動火災保険株式会社	1,414	2.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,383	2.37

(注)・持株比率は自己株式を控除して計算しております。

・日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)の持株数には、株式会社百十四銀行が自己名義で保有している300千株を含めて記載しております。

株式分布状況

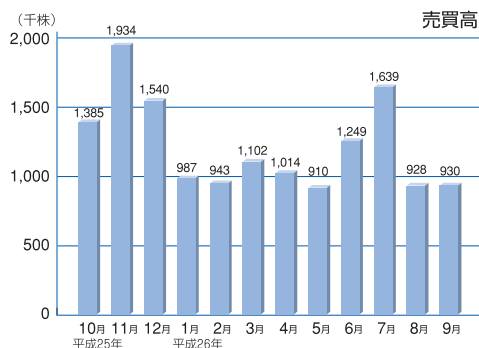
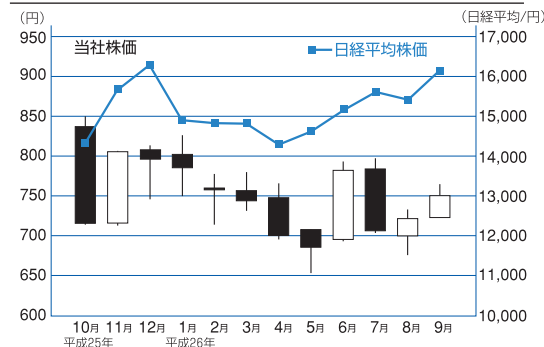
平成26年9月30日現在



合計58,948千株

株価及び売買高の推移

東京証券取引所



1株当たり株主配当金

12円(年間)

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策の一つと位置付けています。中長期の視点から適正な利益を確保しつつ、業績に裏付けられた成果配分を安定的に行うことを基本方針に、株式上場以来永年にわたる安定配当を継続してまいりました。

平成27年3月期(第95期)については、中間・期末を合わせ年間12円の配当を予定しております。



株主優待制度について

期末現在における1,000株以上保有の株主様を対象に、地域の特産品(3,000円相当)を一律に贈呈いたします。平成26年6月には、地元香川の特産品である讃岐うどんをお届けいたしました。

株式に関するお知らせ

- 単元未満株式の買取・買増制度について
単元未満株式(1,000株に満たない株式)を買い取らせていただく「買取請求制度」と、不足分を買い増ししていただき単元株式(1,000株)にまとめる単元未満株式の「買増請求制度」をご利用いただけます。
- 特別口座の株式について
特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買ができません。証券会社等に口座を開設し、株式を振替えることで、円滑な株式の売買が可能です。

株式に関する手続きについて

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払い配当金のお支払い		みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります。)

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 …………… 3月31日
剰余金の配当 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
このほか必要ある場合は、あらかじめ
公告して臨時に基準日を定めます。
- 公告方法
当社のホームページに電子公告として
掲載いたします。
<http://www.shikoku.co.jp/ir/denshi.html>
但し、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 上場取引所 東京証券取引所
- 株主様窓口
四国化成工業株式会社 総務部
〒763-8504
香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1
TEL.0877-21-4111



プールの殺菌消毒剤【ネオクロール】

安心なプールの水にかかせない「ネオクロール」に代表される塩素化イソシアヌル酸事業は今年で50周年。今では「バラスト水」「飲料水」「衛生管理商品」などへの用途展開を進め、新たな市場の創出に取り組んでいます。